

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2006年11月8日から2026年11月20日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所に上場されているインフラ関連株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」（米ドル建て）の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月20日および11月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インド・インフラ株式ファンド

第30期（決算日 2021年11月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産額
26期 (2019年11月20日)	円 9,226	円 0	% 1.6	% 98.8	百万円 26,002
27期 (2020年5月20日)	6,082	0	△34.1	98.1	15,672
28期 (2020年11月20日)	8,527	0	40.2	98.7	21,238
29期 (2021年5月20日)	11,285	500	38.2	99.5	22,974
30期 (2021年11月22日)	13,572	800	27.4	97.2	25,707

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

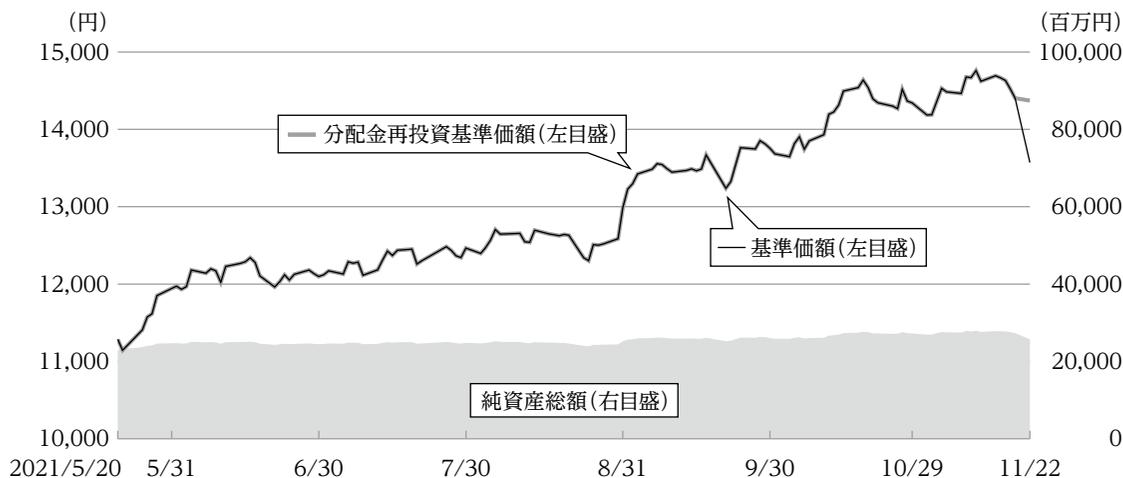
年月日	基準価額	騰落率	投資信託 証券 組入比率
(期首) 2021年5月20日	円 11,285	% —	% 99.5
5月末	11,944	5.8	97.0
6月末	12,097	7.2	98.6
7月末	12,466	10.5	98.8
8月末	12,986	15.1	98.9
9月末	13,755	21.9	98.9
10月末	14,341	27.1	97.7
(期末) 2021年11月22日	14,372	27.4	97.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2021年5月21日～2021年11月22日)



第30期首	11,285円
第30期末	13,572円 (既払分配金800円)
騰落率	27.4% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・投資対象ファンドを通じて保有する株式が上昇したこと。
- ・インドルピーが円に対して上昇したこと。

インド株式市場

期初は、インドの新型コロナウイルス感染第2波の新規感染者数がピークアウトしつつある中、ワクチン接種が徐々に進展し経済活動の正常化への期待が高まったことなどから、インド株式市場は上昇して始まりまし。その後も、景気の立て直しを狙った大規模な財政政策や緩和的な金融政策の維持を受けて、株式市場は上昇基調が続きました。2021年10月には7-9月期決算が主要企業中心に好調であったことから株式市場は騰勢を強めました。期末にかけては海外投資家からの利益確定売りが強まったことなどからやや軟調に推移しました。

為替市場

米国におけるテーパリング（量的緩和の縮小）への思惑などから米ドルが主要通貨に対し全般的に上昇する中、インドルピーは連れで軟調な展開となりました。2021年8月には米連邦準備制度理事会（FRB）が早期の利上げに対し慎重な姿勢を示したことから一時米ドルが下落する場面もありましたが、米国では供給制約などを受けて物価が上昇し、テーパリングが決定される中、インドルピーは米ドルに対して軟調に推移しました。

一方、米国におけるテーパリングや長期金利の上昇などを受けて、円は米ドルに対し下落し、これを受けて通期ではルピー高円安となりました。

国内債券市場

期初から2021年7月にかけて、日本国債利回りは低下（価格は上昇）基調で推移しました。緊急事態宣言が延長されるなかで、大規模な金融緩和策が維持されるとの見方が材料となりました。その後、期末にかけては、欧米の長期金利上昇を受けて日本国債利回りも上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

インドのインフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、

割高となった銘柄の組入れを減らしました。

当期は、受注状況が良好な上、利益率が向上したことなどから上昇したラーセン&トウブロや新型コロナウイルスの新規感染者数の減少を受けて住宅需要の回復期待などを背景に上昇したブリゲイド・エンタープライズの保有などがプラス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第30期	
	2021年5月21日 ～2021年11月22日	
当期分配金	(円)	800
（対基準価額比率）	(%)	5.566
当期の収益	(円)	800
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	4,356

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインド・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン組入比率を高位に保つことを基本とします。

インド・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

インド政府はインフラプロジェクトへの投資資金を安定的に調達するため、インフラ資産の証券化などによる売却を進めようとしています。政府は高い経済成長を維持するためにはインフラの整備が不可欠としており、インフラ関連銘柄は中期的に魅力的な投資先であると考えます。今後のインド株式市場は、国内でのワクチン接種の進展や政府の新型コロナ救済策による経済効果に影響を受けると

考えます。また、インド政府は軍事関連や電子機器・部品セクターに対して国内製造割合を増やすよう働きかけを行うなど、製造業振興策である「メイク・イン・インド」を推し進める動きも見られています。引き続き債務が少なく、持続性のあるビジネスモデルを有する企業の株式を選好し投資を行ってまいります。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1 万口当たりの費用明細

(2021年5月21日～2021年11月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	89円	0.688%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、12,931円です。
(投信会社)	(36)	(0.280)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(51)	(0.392)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	90	0.694	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

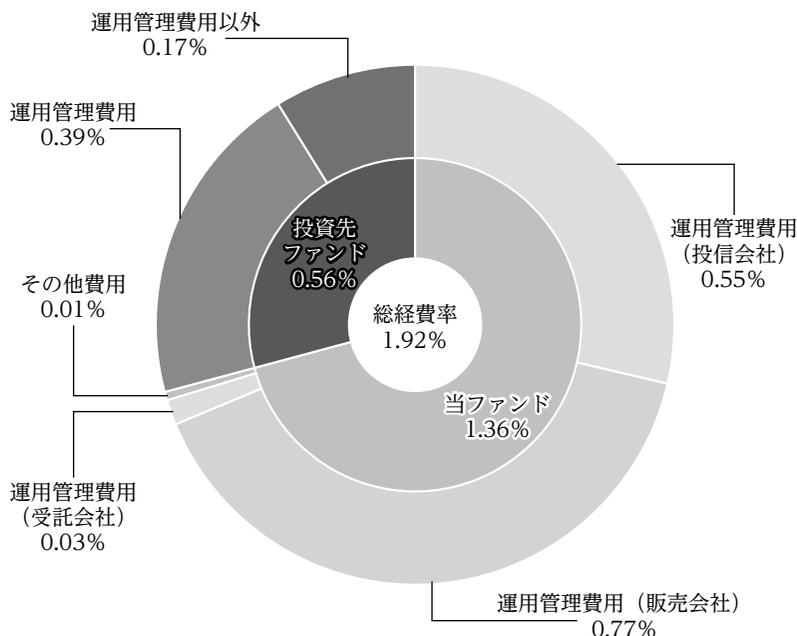
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率 (①+②+③)	1.92%
①当ファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2021年5月21日から2021年11月22日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
			千口	千米ドル	千口	千米ドル
外国	米ドル建 モーリシャス籍	イーストスプリング・インベストメンツ・ インディア・インフラストラクチャー・ エクイティ・オープン・リミテッド	—	—	1,342	37,000

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2021年5月21日から2021年11月22日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2021年11月22日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	99,168	99,168	106,734	0.4
合 計	99,168	99,168	106,734	0.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末			比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千米ドル	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・ インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド	8,894	7,551	217,971	24,870,549	96.7
合 計	8,894	7,551	217,971	24,870,549	96.7

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2021年11月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	106,734	0.4
投 資 証 券	24,870,549	90.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,518,978	9.1
投 資 信 託 財 産 総 額	27,496,261	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(24,870,549千円)の投資信託財産総額(27,496,261千円)に対する比率は90.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年11月22日における邦貨換算レートは、1米ドル=114.10円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年11月22日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	27,496,261,432円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,518,977,318
投資信託受益証券(評価額)	106,734,812
投資証券(評価額)	24,870,549,302
(B) 負 債	1,788,266,826
未払収益分配金	1,515,355,658
未払解約金	95,904,111
未払信託報酬	175,624,701
未払利息	7,246
その他未払費用	1,375,110
(C) 純資産総額(A-B)	25,707,994,606
元 本	18,941,945,732
次期繰越損益金	6,766,048,874
(D) 受益権総口数	18,941,945,732口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,572円

(注1) 元本の状況

期首元本額	20,358,894,474円
期中追加設定元本額	1,697,991,128円
期中一部解約元本額	3,114,939,870円

(注2) 1口当たり純資産額は1,3572円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2021年5月21日 至2021年11月22日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 332,578円
支 払 利 息	△ 332,578
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	5,733,516,741
売 買 益	6,202,207,747
売 買 損	△ 468,691,006
(C) 信 託 報 酬 等	△ 177,063,809
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,556,120,354
(E) 前期繰越損益金	2,470,971,539
(F) 追加信託差損益金	254,312,639
(配当等相当額)	(1,739,679,404)
(売買損益相当額)	(△1,485,366,765)
(G) 計(D+E+F)	8,281,404,532
(H) 収益分配金	△1,515,355,658
次期繰越損益金(G+H)	6,766,048,874
追加信託差損益金	254,312,639
(配当等相当額)	(1,739,679,404)
(売買損益相当額)	(△1,485,366,765)
分配準備積立金	6,512,068,813
繰越損益金	△ 332,578

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(5,556,293,380円)、信託約款に規定する収益調整金(1,739,679,404円)および分配準備積立金(2,471,131,091円)より、分配対象収益は9,767,103,875円(10,000口当たり9,767円)であり、うち1,515,355,658円(10,000口当たり151.54円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

決 算 期	第 30 期
1 万口当たり分配金（税引前）	800円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド	
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	インドのインフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	インドのインフラ関連企業の株式	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	投資顧問会社	ICICI ブルーデンシャル・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド（略称：ICICIAM）※ ¹
	管理会社	Vistra Alternative Investments (Mauritius) Limited
申込手数料	ありません。	
運用報酬および管理報酬等	年率0.60%（上限）	
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2006年10月9日	
決算日	毎年8月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス（1－10年債）※ ²	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※1 ICICIAMは、ICICI銀行と世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルーデンシャル社（以下「最終親会社」）との合弁会社です。

なお、最終親会社およびICICIAMは、主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2020年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

純損益及びその他包括利益計算書

2020年8月31日に終了した事業年度

米ドル

収益

受取配当金	1,344,195
その他利息	16
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損失）	(10,124,458)
投資有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）	7,333,869
派生商品の処分に係る実現純利益（損失）	(261,685)
	<hr/>
	(1,708,063)

費用

運用報酬	(792,451)
保管銀行費用	(103,151)
管理費用	(59,732)
計算事務費用	(34,671)
銀行手数料	(5,993)
取引手数料	(27,825)
免許登録費用	(5,300)
専門家報酬	(64,816)
監査報酬	(44,193)
その他費用	(8,667)
売買委託手数料	(985,400)
外国為替取引に係る実現純利益（損失）	(563,468)
外国為替取引に係る未実現純利益（損失）	101,637
	<hr/>
	(2,594,030)

償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額	(4,302,093)
税金	(1,405,393)
償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額	<hr/> <hr/> (5,707,486)

投資有価証券明細表

2020年8月31日現在の上場株式

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
Ashoka Buildcon Limited	556,285	859,325	515,127	0.28%
Axis Bank Limited	2,913,223	19,686,549	19,663,585	10.52%
Bajaj Finance Limited	129,227	4,965,005	6,124,293	3.28%
Bajaj Finserv Limited	53,574	4,672,573	4,506,303	2.41%
Bharat Petroleum Corporation Limited	32,599	188,270	180,635	0.10%
Bharti Airtel Limited	1,791,919	10,359,695	12,493,137	6.69%
Bodal Chemicals Limited	914,886	2,268,030	854,033	0.46%
Brigade Enterprises Limited	1,306,250	2,910,531	3,099,888	1.66%
Capacit'e Infraprojects Limited	168,203	458,882	289,918	0.16%
Chalet Hotels Limited	973,023	3,722,469	2,066,489	1.11%
Container Corporation of India Limited	578,535	3,922,260	3,089,394	1.65%
Dixon Technologies (India) Limited	17,196	1,348,708	1,891,441	1.01%
Easun Rayrolle Limited	1,499,989	2,257,149	61,145	0.03%
GAIL (India) Limited	3,129,485	3,547,633	4,067,326	2.18%
Gateway Distriparks Limited	2,323,786	4,307,898	2,833,882	1.52%
GEI Industrial Systems Limited	872,000	1,227,946	—	0.00%
The Great Eastern Shipping Company Limited	735,169	4,034,659	2,540,797	1.36%
Grindwell Norton Limited	376,000	3,228,644	2,578,530	1.38%
Gujarat State Petronet Limited	1,276,939	2,841,663	3,531,770	1.89%
Hindalco Industries Limited	1,382,069	2,660,652	3,478,877	1.86%
Housing Development Finance Corporation Limited	265,384	5,755,923	6,608,357	3.54%
ICICI Bank Limited	3,530,657	16,014,536	18,930,571	10.13%
ICICI Lombard General Insurance Company Limited	68,665	1,126,182	1,172,514	0.63%
ITD Cementation India Limited	1,790,942	1,134,956	1,303,143	0.70%
JSW Steel Limited	1,286,667	4,033,836	4,716,928	2.52%
Kotak Mahindra Bank Limited	568,173	9,367,887	10,818,781	5.79%
Larsen & Toubro Limited	582,568	9,804,577	7,480,085	4.00%
Mahindra & Mahindra Financial Services Limited	370,036	1,162,111	677,271	0.36%
Mahindra Lifespace Developers Limited	82,896	471,117	305,418	0.16%
Motherson Sumi Systems Limited	3,627,295	5,392,379	5,406,804	2.89%
NTPC Limited	4,933,025	8,975,195	6,461,621	3.46%
Oberoi Realty Limited	49,793	360,658	263,799	0.14%
Orient Electric Limited	156,700	313,431	425,418	0.23%
PNC Infratech Limited	171,511	473,284	395,364	0.21%

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
Prestige Estates Projects Limited	507,434	1,496,517	1,709,256	0.91%
Reliance Industries Limited	63,535	1,097,795	1,796,278	0.96%
Reliance Industries Limited (partly paid shares)	576,817	4,169,390	9,354,306	5.01%
Sadbhav Engineering Limited	1,017,448	2,670,031	741,017	0.40%
Sandhar Technologies Limited	365,490	1,432,720	1,141,487	0.61%
SBI Life Insurance Company Limited	500,595	5,845,538	5,630,368	3.01%
SHREE CEMENT LIMITED	23,974	6,054,328	6,607,296	3.54%
Starlog Enterprises Limited	394,158	747,253	62,073	0.03%
State Bank of India	2,494,517	11,141,477	7,185,772	3.85%
Sundram Fasteners Limited	10,601	75,452	64,928	0.03%
Tata Chemicals Limited	25,000	116,220	106,155	0.06%
Tata Power Company Limited	1,373,647	1,120,514	1,096,564	0.59%
Tata Steel Limited	706,034	3,375,140	3,962,112	2.12%
The Phoenix Mills Limited	203,979	1,788,046	1,787,291	0.96%
Triveni Turbine Limited	773,252	1,411,497	793,266	0.42%
UltraTech Cement Limited	76,778	3,536,425	4,072,687	2.18%
		<u>189,932,956</u>	<u>184,943,500</u>	<u>98.97%</u>
その他資産			1,931,289	1.03%
純資産			<u>186,874,789</u>	<u>100.00%</u>

「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2020/2/26 ～2021/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.220%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,811円です。
（投信会社）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.234	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2021年2月25日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区分	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率				
					5年以上	2年以上	2年未満		
	千円	千円	%	%	%	%	%	%	
国債証券	599,500	629,471	91.5	—	50.8	23.7	17.0		
合計	599,500	629,471	91.5	—	50.8	23.7	17.0		

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第313回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第315回 利付国債（10年）	1.3	25,000	25,020	2021/03/20
	第351回 利付国債（10年）	1.2	20,000	20,080	2021/06/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	50,273	2028/06/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	59,000	59,212	2029/03/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	90,000	89,874	2030/06/20
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	40,721	2021/12/20
	第60回 利付国債（20年）	1.4	30,000	30,817	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	52,195	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	47,755	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	21,762	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	41,548	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	61,262	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	50,000	56,493	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	27,500	32,452	2030/03/20	
合 計			599,500	629,471	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。